

ドレーゲル 診療用照明器 VarioLux

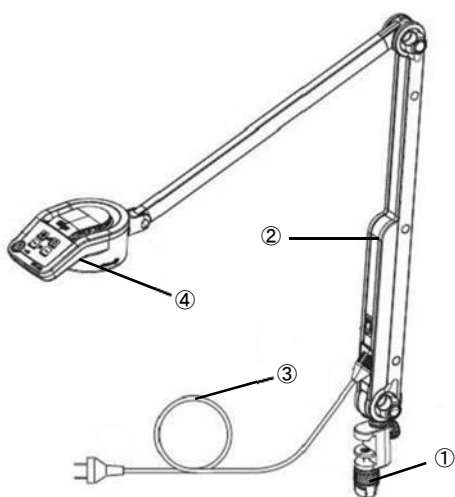
【禁忌・禁止】

使用方法

1. 本医療機器は、可燃性または爆発性の混合ガスが発生する恐れのある場所で使用しないで下さい。[火災の危険性があります]

【形状・構造及び原理等】

1. 外観



番号	名称
①	レールクランプ
②	アーム
③	電源ケーブル
④	VarioLux処置用ライト

2. 原理

LED の光源を、反射鏡技術を用いて制御・集光し、対象範囲の照度を確保する。

【使用目的、効能又は効果】

患者の診療及び治療時に用いる照明器をいう。本品は天井又は床等に固定される。複数のライトヘッドからなる照明システムの一部をなすものもある。

【使用方法等】

組立と準備

1. レールクランプをレールに固定する。
2. 処置用ライトをレールクランプに挿入し、所定の位置で固定する。
3. 装置上のラベルに記載された公称電圧が、電源と合っていることを確認する。
4. 電源ケーブルを、処置用ライトの電源ケーブル接続部に接続する。
5. 電源プラグを電源ソケットに接続する。

使用時

1. アーム位置の調整
調節ノブを反時計回りに回して緩め、処置用ライトを所定の位置まで動かす。処置用ライトを所定の位置に動かしたら、調節ノブを時計回りに回し、固定する。なお、調節ノブを緩める時は、アームをしっかりと支えること。
2. 電源のオン/ オフ
オン/ オフスイッチを押して、処置用ライトの電源のオン/ オフを切り替える。なお、オン/ オフスイッチをオンにすると、セルフテストが自動的に行われ、シグナルライトがいくつか短時間だけ点滅する。セルフテスト完了後、インジケータライトが緑色に点灯する。

操作方法

1. 処置用ライトの点灯・消灯コントロールパネル上のキー()を押し、処置用ライトのオン/ オフを切り替える。
2. 照度の選択
コントロールパネル上のキー()を押し、照度を選択する。照度は6500～30000 lx の間を20 %単位で選択でき、選択した照度はシグナルライトによって示される。
3. 色の選択
コントロールパネル上のキー()を押し、下表に従って必要な色を選択する。選択した色はシグナルライトによって示される。

パネル上の色	処置用ライトの光の色	色温度	推奨
青	クールホワイト	4700K	血管1本の検知、傷の後処置、小規模の手術
白	ニュートラルホワイト	4100K	一般的な処置
赤	ウォームホワイト	3500K	皮膚の検査

***【使用上の注意】**

重要な基本的注意

1. 人体または装置を損傷する危険があります。
処置用ライトの位置決めをする際に、アームシステムをエンドストップ以上引っ張らないで下さい。
2. 加熱により装置が破損する危険性があります。
可燃性物質との距離は、少なくとも0.5 m (19.7 in) 確保して下さい。
熱源の下でライトを保管または使用しないで下さい。使用中、照明ヘッドの一部または全体を覆わないで下さい。
3. 衝突の可能性あります。
可動部分を動かす際は、負傷の原因とならぬよう、十分に注意して操作して下さい。

***【保管方法及び使用期間等】**

耐用期間

本品の耐用期間は、適切な取扱いが実施されている場合に限り、顧客に最初に納入されてから8 年間[自己認証(自社データ) による] になります。

****【保守・点検に係る事項】**

*

使用者による保守点検事項

詳細は、取扱説明書をご参照ください。

業者による保守点検事項

ドレーゲルジャパン株式会社のサービス部門による保守点検を必ず行って下さい。(保守契約を結ばれることをお勧めします。)

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：ドレーゲルジャパン株式会社

住所：東京都品川区上大崎2-13-17 目黒東急ビル

電話番号：03-6447-7200

設計を行う

外国製造業者：Drägerwerk AG & Co. KGaA (Moislinger)

ドレーゲルバルク社

製造国：ドイツ連邦共和国